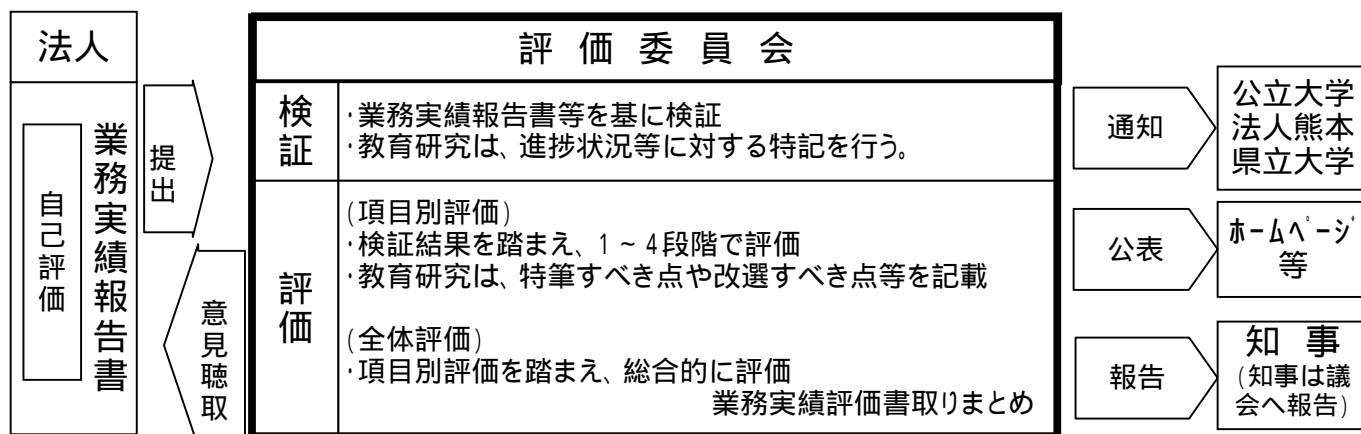


業務実績評価の概要



1) 教育研究に係る特記事項(抜粋)

教育

- ・ 大学院においては、平成20年度からの長期履修制度の導入が決定されており、社会人の受け入れ態勢の整備が着実に行われている。
- ・ 教育に関する管理・運営体制の整備が迅速に行われている。教育内容・方法充実の柱となるカリキュラム改正については、十分な審議のうえ対応されることを期待する。
- ・ 学部、学科の再編に関しては、迅速な対応が行われている。

研究

- ・ 学長特別交付金制度の改革など、限られた財源の有効活用と研究水準の向上に向けた取組みが始まっており、今後の広がりを期待する。
- ・ 企業、自治体との包括協定や、「食」に関する地域との連携など、県立大学としての特色ある取組みが進められている。

地域貢献

- ・ 企業、自治体との包括協定を活用した地域貢献というこれまでにない取組みが進められており、大学の研究活動を地域に還元するという視点から積極的な対応が行われている。特に、学生に対する教育研究活動として取組まれている「もやいすと育成プログラム」とも連携させるなど、特色ある取組みが行われている。

国際交流

- ・ 国際交流の基本となる国際交流ビジョンの策定がなされており、ビジョンに基づいた着実なる施策の推進を期待する。

学生生活支援

- ・ 就職支援においては、OB・OG力の活用を図るなど、これまでの県立大学にはない取組みが行われている。